

令和5年度第1回 鳴門病院を良くする会

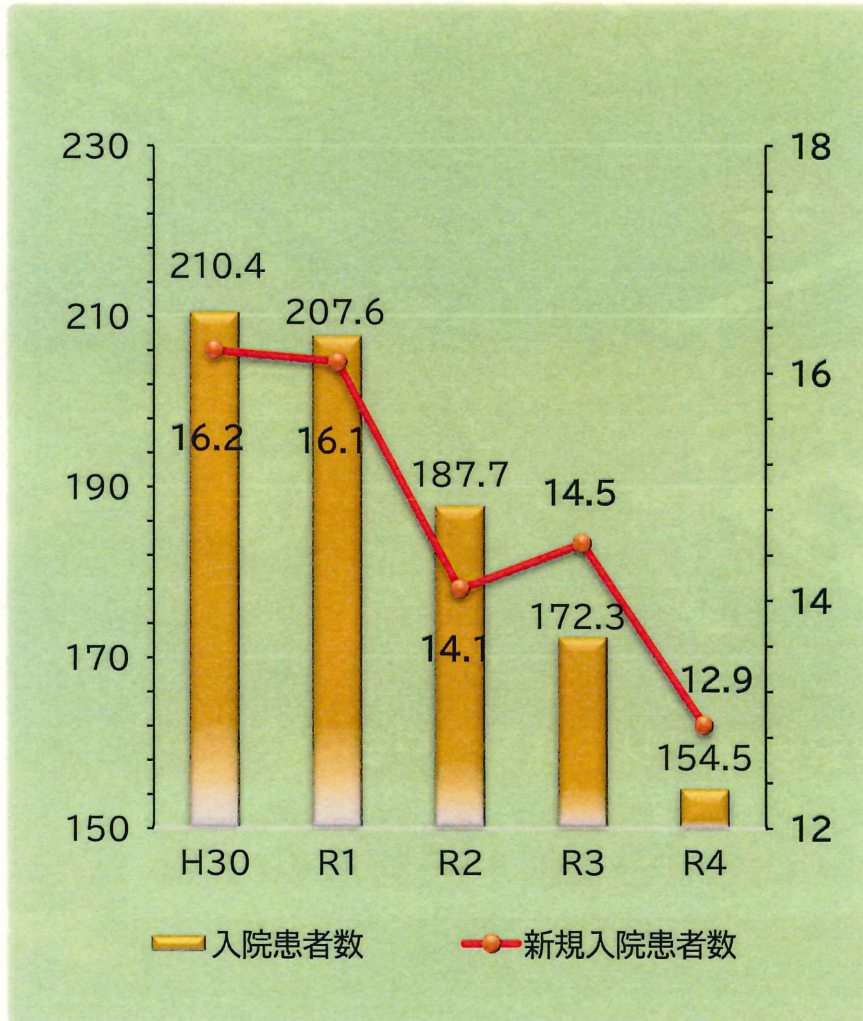
# 第3期中期計画の取組状況について

～さらに信頼され、期待され、愛される病院を目指して～

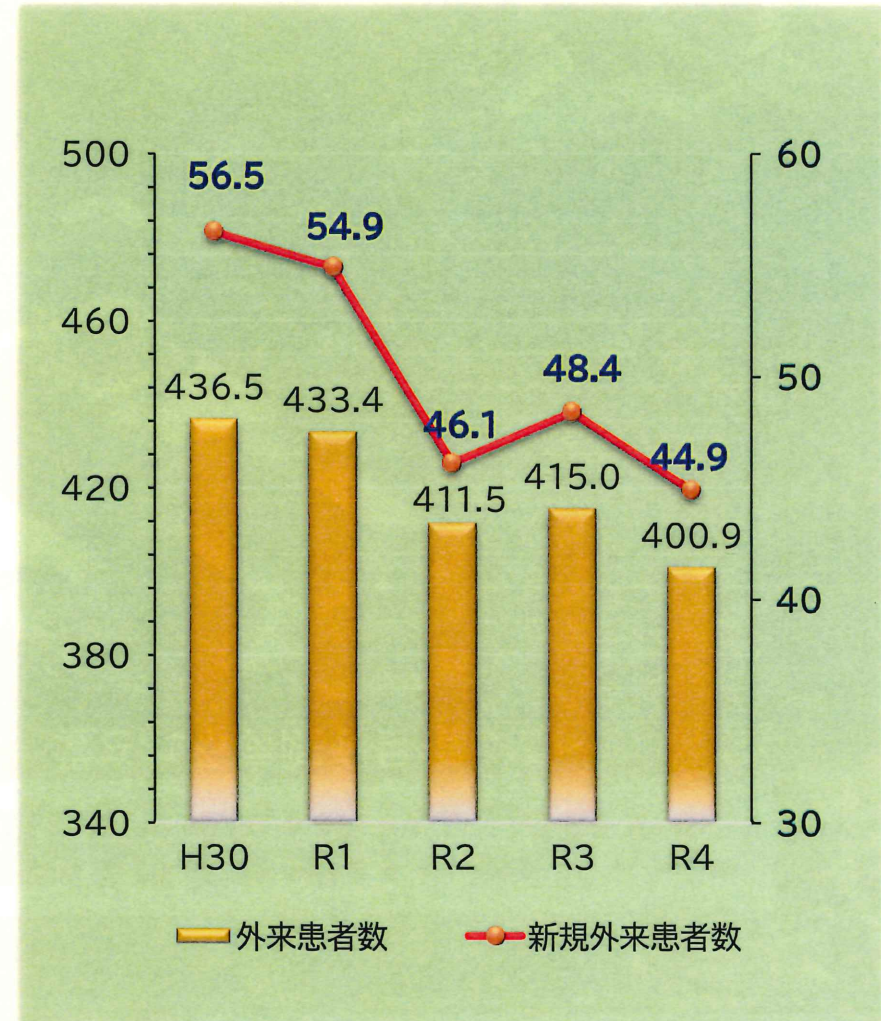


# 入院・外来患者の動向

## 1日当たりの入院患者数

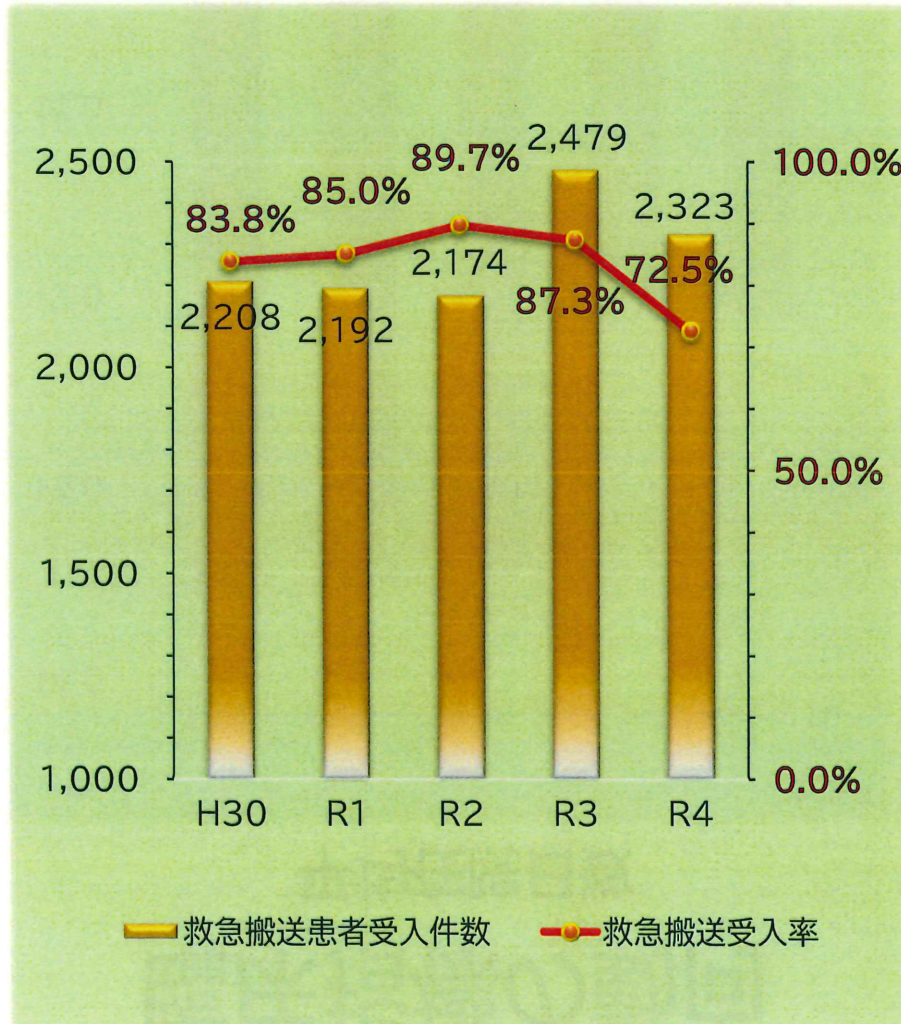


## 1日当たりの外来患者数

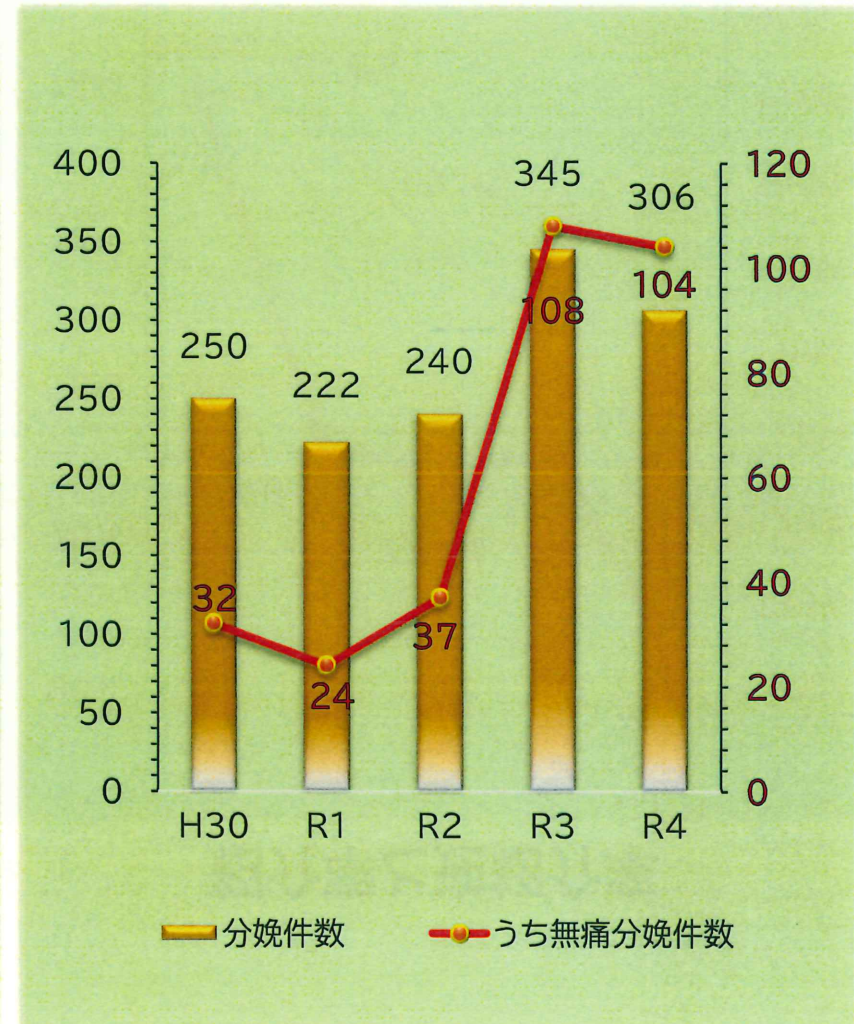


# 救急患者・分娩件数の動向

## 年間の救急患者数

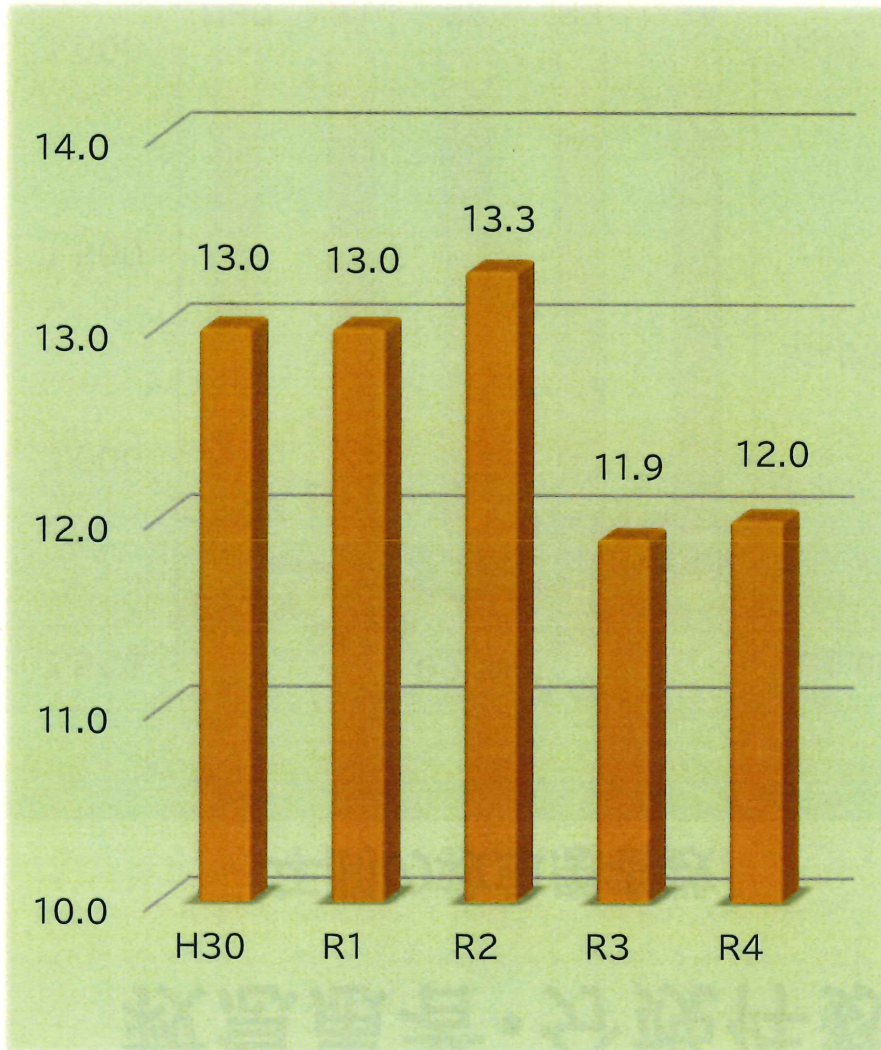


## 年間の分娩件数

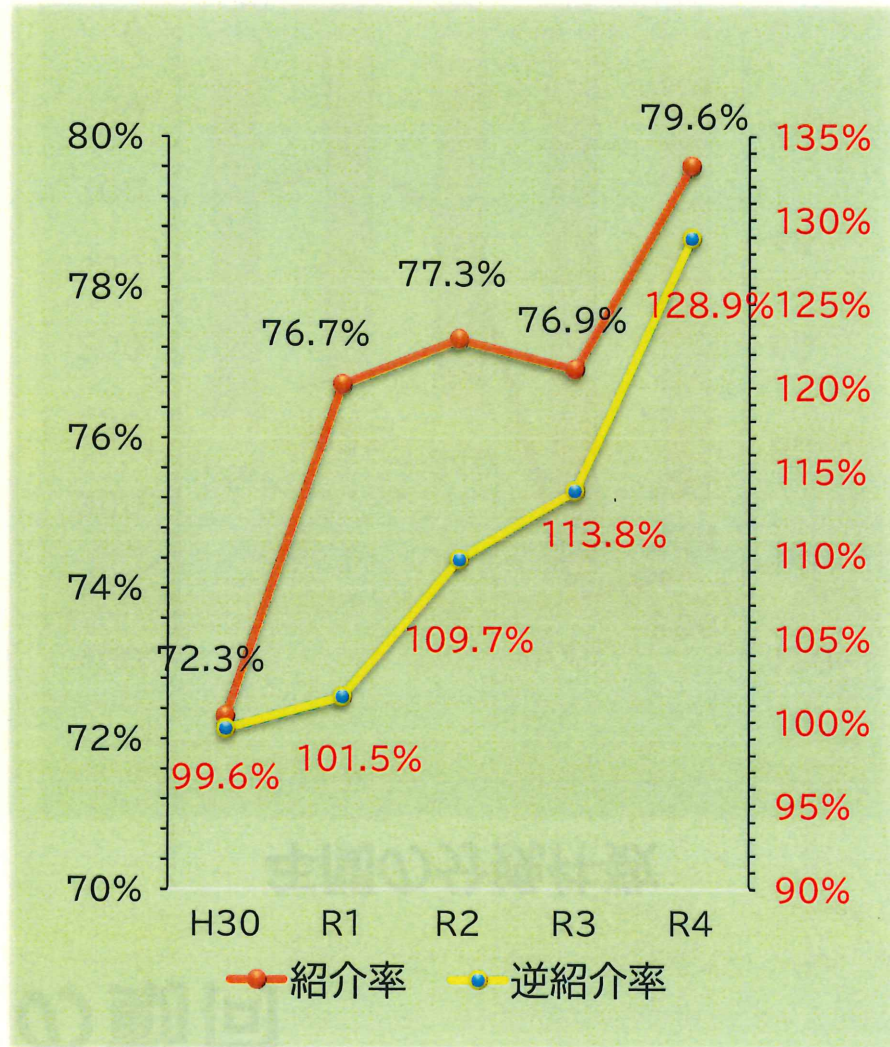


# 臨床指標の動向

## 平均在院日数



## 紹介率と逆紹介率



# 第3期中期計画の概要



「鳴門病院を良くする会」  
等からご意見を賜りつつ  
取組を推進



令和3年度

- ・総合医療情報システムの整備
- ・病室の個室化(～R6))
- ・がん医療の高度化(MRI、DSAの更新)
- ・人材の確保・養成(～R6) など

令和4年度

- ・院内保育所の改修と病児保育の開始
- ・外来化学療法室の移転・拡充(6階南へ)
- ・健康管理センター受診環境・予約制の改善
- ・臨床研修看護師制度の創設

令和5年度(予定)

- ・地域包括ケア病棟の開設
- ・健管センター検診車の更新
- ・整形外科外来の移転整備
- ・抜本的な災害対策(～R7)  
※ハリポートの着工 など

令和6年度(予定)

- ・救急総合診療センターの整備
- ・緩和ケア病床の整備(～R7)
- ・照明設備のLED化
- ・人間ドック病室の改修 など

地域完結型の  
中核病院へと進化

# 第3期中期計画(R4)の取組①

- ▶ 院内「おひさま保育所」改修及び病児保育の開始(R4.10～)



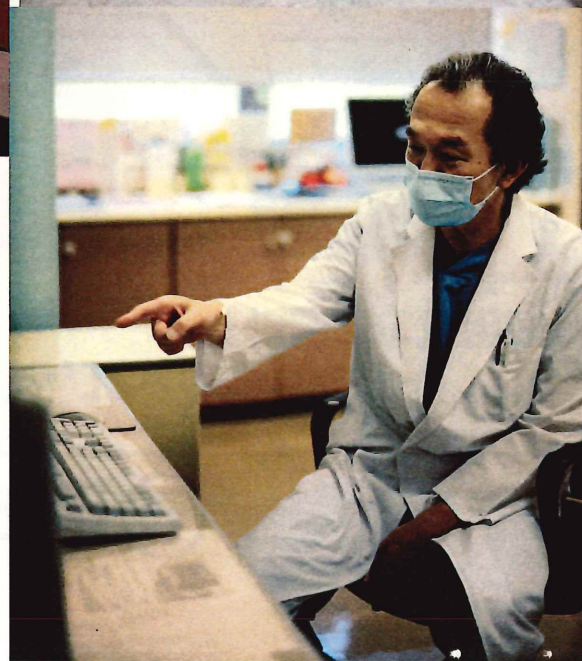
# 第3期中期計画(R4)の取組②

## ▶ 外来化学療法室の移転・拡張(R5.1～)



# 第3期中期計画(R4)の取組③

## ▶ 健康管理センターの受診環境・予約制の改善





# 第3期中期計画(R4)の取組④

## ▶ 新型コロナウイルス感染症への対応

・県民の皆様に対する「予防促進」から「入院治療」まで、  
新型コロナウイルス感染症に積極的に対応



予防促進



- ・医療従事者から高齢者まで、  
地域の方々へのワクチン接種を実施。
- ・アナフィラキシー等の副反応にも即座に対応

基本型接種施設

専門協力病院

検査・診察



- ・疑いのある発熱患者の検査や診察等を実施

有熱者外来

帰国者・接触者外来

入院治療



- ・フェーズに応じた柔軟な受入病床の確保

重点医療機関

協力医療機関

# 第3期中期計画(R4)の取組⑤

## ➡ その他

### ① 医師の確保

- ・「救急・総合診療科」の設置による受入体制の充実
- ・循環器内科医の増員に向けた取組の推進

### ② 人材の確保・養成

- ・初任給と昇給停止年齢を改善
- ・「職種別キャリアラダー」を策定、職種に応じた研修体系を構築
- ・看護師国家試験合格率100%達成(11年連続)

### ③ 業務運営の改善

- ・就業管理システムの導入による業務軽減や適正な労務管理
- ・DPC診療報酬施設基準の新規取得(16項目)
- ・診療材料費抑制のため、全国組織との共同購入を開始
- ・適正な在庫管理や業務改善のため、SPDシステムを導入

### ④ デジタル化の推進

- ・5Gによる医療DXの推進(救急医療地域連携モデル) ➡
- ・総合医療情報システムへのバックアップ導入(毎日更新)

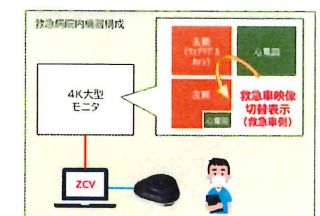
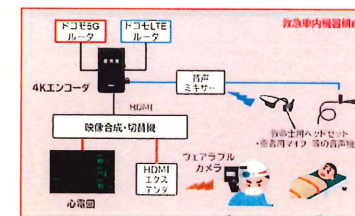
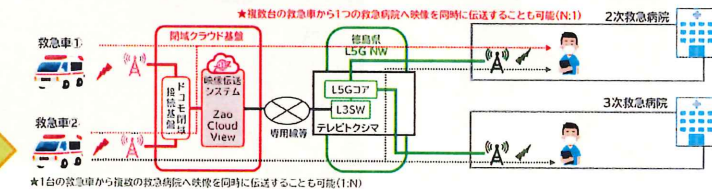


**2022年度 診療材料共同購入**

【ニトリル手袋】  
 昔来看護局長にご協力頂き、各部署へのサンプル配布と評価回収を行いました。各部署様へサンプルをご用意、実際に試して頂き、現行品より薄く履きやすいとの評価から切替了承となりました。

【SPO2センサー】  
 国岡ME係長にサンプル評価頂き、院内全体で使用される製品の切替にご協力頂きました。院内への周知文の作成や不具合発生時のメーカー保証があることを説明。コストメリットも大きいことから切替了承となりました。

【水硬化性スプリント】  
 整形外科主任部長千川先生に製品の評価にご協力頂きました。現在ご使用されている製品と使用感に差があることを懸念されておりましたが、何度かご使用頂き、慣れば問題ないとの評価を頂き切替了承となりました。



# 令和5年度 新組織の設置

## ① 感染症制御センター (R5.4.1)

院内感染の未然防止、院内感染発生時の適切な対応と再発防止を図るため、「医療安全センター」から感染対策を独立させ、「院内感染防止委員会」と統合することによる体制強化を図った。

## ② 災害医療センター (R5.4.1)

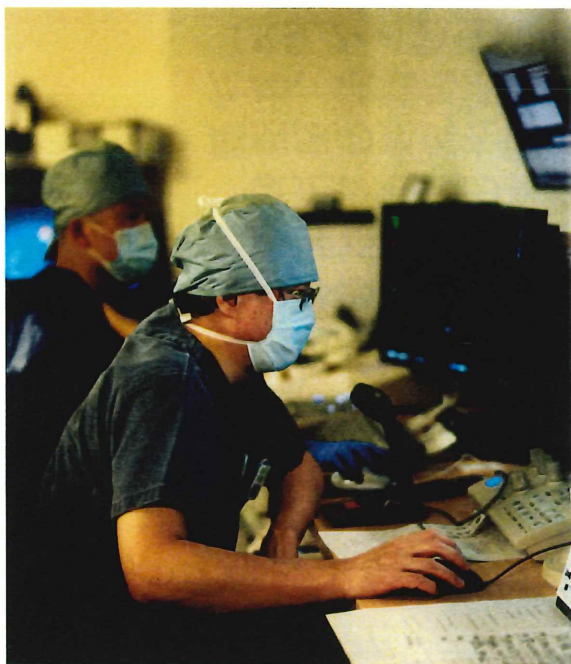
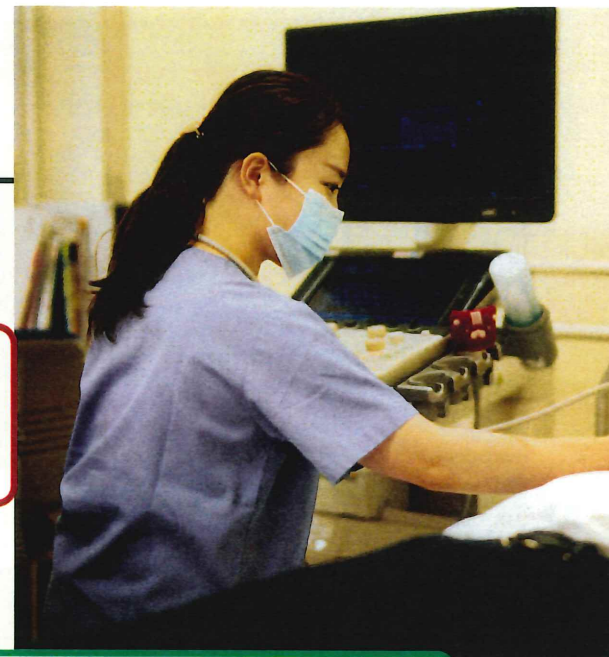
災害拠点病院としての責務を的確に果たすため、BCP・訓練・DMAT等の災害医療・危機管理に関する業務を統括する組織を立ち上げ、専任職員(統括監1名、職員1名、兼務1名)を配置した。

## ③ 救急総合診療センター (R5.4.1)

令和7年度の運用を予定しているHCUと感染症対応との切替が可能なリバーシブル構造を採用する救急総合診療センター拡張整備の推進や各職種が協力した断らない救急医療の実現のための体制強化を図った。

## ④ 患者サポートセンター (R5.4.1改正)

ベッドコントロールセンターと入院前から患者支援に関わるサポートセンターを統合し、一体的に運用することで、より効果的、効率的に運用が可能となる体制を構築した。



# 令和5年度 地域包括ケア病棟を開設

特色ある医療の手の外科と脊椎脊髄の両センターは、県内外の遠隔地からの紹介患者も多く、十分な医療管理と高度で熟練したリハビリ対応が必要なこと。

また、地域の有床診療所が減少する中、不足する回復期病床の充実を図り、安全・安心な自宅療養を支援するため、地域包括ケア病棟を整備、運用を開始した。

(R5.7～ 急性期48床⇒回復期48床へ転換)

※ 新興感染症の発生時に、迅速な受入体制を確保するため、リバーシブルな構造を採用





# 徳島県鳴門病院 令和5年度 取組の方向性

## 基本方針

徳島県北部を中心に香川県東部や兵庫県淡路島をも診療圏とする、吉野川北岸で唯一の「総合的診療基盤を持つ中核病院」として、求められる地域医療の充実と医療の質の向上を図る。

### 医療品質及び患者サービスの向上

#### 1 診療事業の進化

- 救急医療の強化に向けた「救急総合診療センター」開設計画の推進  
⇒ 政策医療の充実・強化と新興感染症に対応可能な構造
- 緩和ケア病棟の整備に向けた検討を引き続き実施  
⇒ 外来化学療法室(R5.1完成)に続きフルセットのがん医療提供体制の整備
- 新・総合医療情報システムや5Gの活用によるデジタル化・DXの推進

#### 2 医療・介護連携の充実

- 「地域包括ケア病棟」の整備 ⇒ 急性期治療後の在宅復帰支援の充実  
※新型コロナ収束後に、整備に着手
- 地域医療機関登録制度の推進 ⇒ 紹介率・逆紹介率の向上
- 健診メニューの最適化や円滑な受診の推進  
⇒ ニーズに応じた健診の構築及び健診関連施設のリニューアル

#### 3 災害時における医療救護

- 抜本的な災害対策の実施 ⇒ 防潮壁の整備による津波浸水対策  
⇒ 防災ヘリを想定したヘリポートの整備
- 地域と一体となった災害訓練の実施⇒「鳴門病院まつり」への組み込み
- DMATの体制強化、災害備蓄品の充実 ⇒ 災害拠点病院機能の強化

#### 4 人材の確保・養成

- 鳴門市、徳島大学と連携した医師確保 ⇒ 循環器内科医等の確保を推進
- 臨床研修医フルマッチに向けた取組の継続
- 臨床研修看護師制度の創設・運用 ⇒ 当院の強みを生かした人材育成
- 職種別の研修計画・キャリアラダー ⇒ 研修体系の構築による人材の確保

### 業務運営の改善及び効率化

#### 1 効果的な業務運営の推進

- 新・総合医療情報システムや5Gを活用したデジタル化・DXの推進(再掲)  
⇒ 各種医療システムとの連携や入力ワンストップ化による職員負担の軽減
- 人事評価制度の深化 ⇒ 全職員への適用へ向けた取組を実施
- 就業管理システムの活用⇒勤務状況の可視化による働き方改革への対応

#### 2 職員の就労環境の向上

- タスクシフティングの推進⇒メディカルクラーク、看護助手等の積極的な活用
- 継続的な処遇の改善⇒県立病院との初任給格差等の解消に向けた改善を推進
- 院内保育所のフレキシブルな運営⇒病児保育の実施や潜在ニーズへの対応

#### 3 収入の確保及び費用の抑制

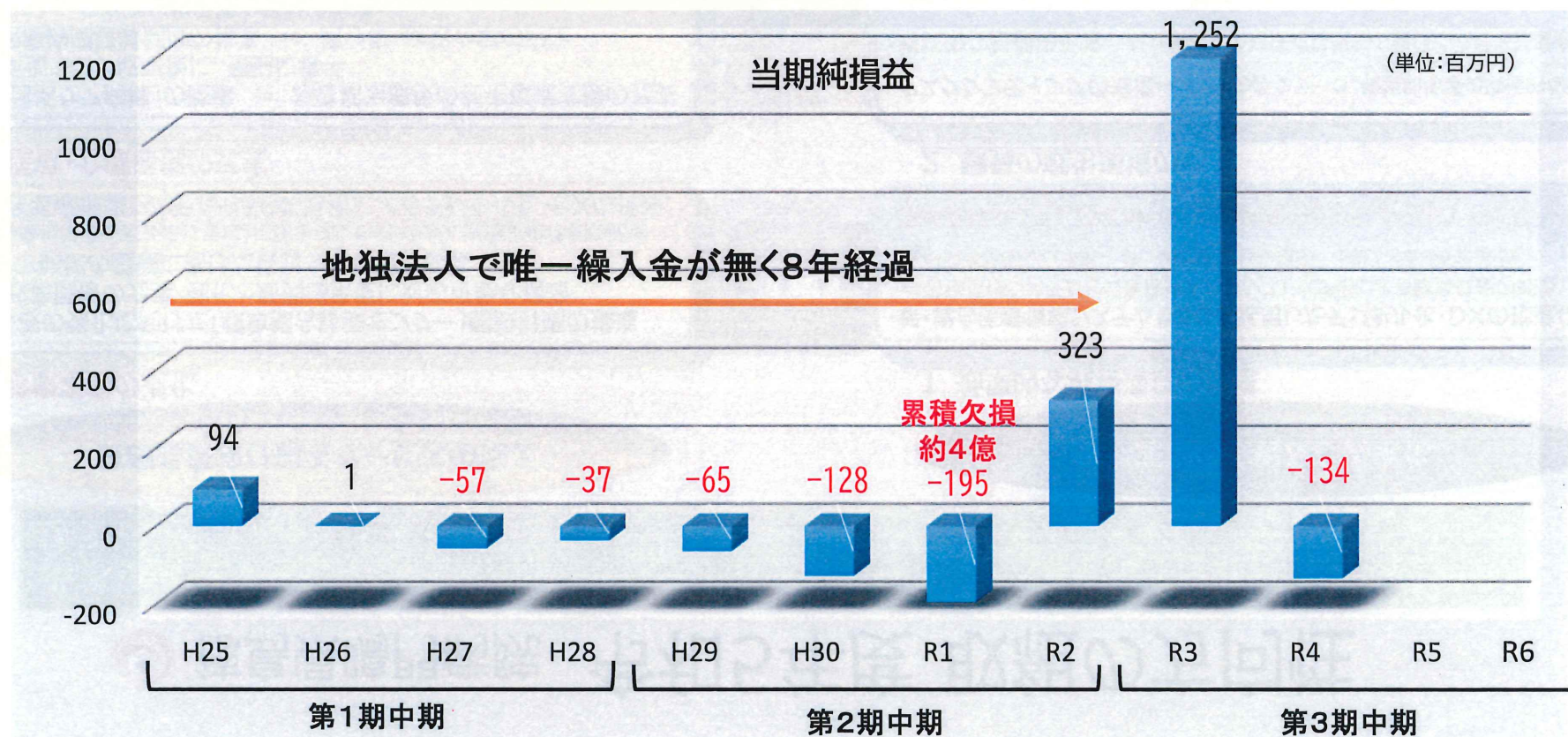
- 物流管理システムの構築 ⇒ 適正在庫や消費管理の徹底による経費削減と発注業務等の負担を軽減
- 診療材料の共同調達の推進⇒日本ホスピタルアライアンスへの委託拡大
- さらなる個室の確保 ⇒ 整形外科病棟のノウハウを他病棟へ展開

#### 4 計画的な施設・設備整備

- 地域包括ケア病棟の整備(再掲)  
⇒ 新型コロナ専用病棟を新興感染症に対応可能なリバーシブル構造へ
- 救急医療の強化に向けた「救急総合診療センター」開設計画の推進(再掲)  
⇒ 政策医療の充実・強化と新興感染症に対応可能な構造
- 津波防潮壁とヘリポートの整備(再掲) ⇒ 大規模災害への対応力を強化

# 中期期間の経営実績（第1期～第3期（半期））

- ▶ 第1期中期の初年度は、移行清算金等により約1億円の黒字を計上したが、周産期、救急の政策医療や看護学校の運営等もあり、後半は赤字に転落
- ▶ 第2期中期は、平成29年度からの3カ年は赤字決算が拡大していたところ、最終年度において6年ぶりの黒字となり、累積欠損金の大幅な縮減を実現
- ▶ 第3期中期の初年度には、政策運営費の交付やコロナ関連補助金の交付により、累積欠損金を一掃したが、2年目は入院患者の減少や経費の増大による赤字決算



# 中期目標期間における達成項目(抜粋)

## 第1期中期計画(平成25年度～平成28年度)

- ・助産師外来及び母乳外来を開始、政策医療の充実
- ・MRI(3.0T)を導入、がん診療連携病院の機能強化を推進
- ・内科と外科の連携による「総合内視鏡センター」を開設、高度な医療を提供

## 第2期中期計画(平成29年度～令和2年度)

- ・「脊椎脊髄センター」の開設、「術中3Dナビ」導入など、特色ある医療を強化
- ・集学的がん治療の質の向上のため、高精度リニアック、PET-CTを導入
- ・「糖尿病・内分泌センター」の開設、多職種チームによる予防医療の推進
- ・新型コロナウイルス感染症重点医療機関として入院治療を開始

## 第3期中期計画(令和3年度～令和6年度) ※R5.3.7経営強化プランへ

- ・「総合医療情報システム」の導入や5Gを活用した医療DXを推進
- ・新興感染症対策を兼ねたリバーシブル構造の「地域包括ケア病棟」の開設



# みなさまへ

おかげさまで、法人設立10周年(創立70周年)を迎えることができました。  
これからも、地域の方々から「さらに信頼され、期待され、愛される病院」  
となるよう、引き続き、職員が一丸となって取り組んで参ります。

